

---

# 経済学科

---

## Economics

### 経済学科 開講ゼミナール一覧

岩澤 政宗.....	10	廣瀬 健一 .....	21
江頭 進.....	11	松家 仁 .....	22
佐野 博之.....	13	松本 朋哉・池田 真介...	23
柴山 千里.....	15	水島 淳恵 .....	24
寺坂 崇宏.....	17	劉 慶豊 .....	25
土井 直史.....	19		
中村 健一.....	20		

## 1. 研究主題

計量経済学の理論研究とその応用

近年、ITの発達に伴い膨大なデータが蓄積・分析されるようになりました。データから有用な情報を引き出すには、統計学や計量経済学の知識を身につけ、それを応用する能力が必要とされます。本ゼミでは、統計学や計量経済学に関する理解を深め、それらを応用するための能力をつけることを目指します。

## 2. 指導要領

テキストの輪読や、データ解析ソフトウェアを用いたプログラミングを学習します。

理論と応用のバランスはゼミ生の興味関心に応じて決定します。

## 3. 指導テキスト及び参考書

機械学習に関するテキストを候補として考えています。実際には、ゼミ生の興味や知識に応じて決定します。

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接により選考を行います。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日程は、掲示板かホームページ (<https://sites.google.com/view/masamune-iwasawa/home>) に掲載します。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

統計学、計量経済学を履修していることを要件とします。

本ゼミは令和2年度が初開講です。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

今年度非開講のため、実施しない。

## 1. 研究主題

- 令和2年度は、Friedrich Hayek『隷属への道』をテキストとして、現代自由市場と社会状況の対比の勉強を行う。なぜ自由が大切なのか、なぜ気がつかないうちに自由が奪われるのかと考えることを課題とし、われわれの社会での「選択の可能性」についての哲学的考察を深める。
- 地域研究の実践として令和元年度に引き続き地域通貨の流通実験を行う。
- 40年前の小樽の風景を写した兵庫コレクションの場所の特定と撮影を継続して行う。

## 2. 指導要領

3年生のゼミは、木曜日14時30分から18時30分を基本とする。14時30分～17時までは、テキストの輪読およびディスカッションに当てる。17時から18時30分は、地域通貨、兵庫コレクション、および合同ゼミの準備等に当てられる。なお、江頭ゼミでは年4回の学内合同ゼミ（ディベート）、年1回の学内合同ゼミ（研究発表会）を行っている。

## 3. 指導テキスト及び参考書

- (1)フリードリッヒ・ハイエク著 西山千明訳『隷属への道』、春秋社。
- (2)吉野裕介『ハイエクの経済思想: 自由な社会の未来像』、勁草書房。

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接による

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

- 11月5, 7, 8日に江頭研究室（1号館409）で15分程度の面接を行う。
- 10月24日までに江頭研究室前に面接希望時間記入表を貼っておくので、各自記入しておくこと。
- 研究室前のボックスに、志望理由書の用紙を入れておくので、持ち帰って記入し、11月2日までにふたたびボックスに入れておくこと。
- 面接時間15分前に江頭ゼミ室（3号館402B）に行き、現ゼミ生と面談しておくこと。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- 江頭ゼミ生は、NPO法人EgaOの会員として地域活性化プロジェクトに取り組みます。来年度は、地域通貨、ノベルゲームが中心となります。こちらも必ず参加してください。
- 学生は勉学中心です。サークルのメインイベント、本大会、病欠、冠婚葬祭欠席は認めますが、学期中のインターンシップ、練習試合、上記以外の自己都合は認めませんので注意してください。
- 市内の活性化事業として、いくつかのイベントにあんかけ焼そば店を出展します。また緑丘祭にも2年来出店しています。こちらにも必ず参加してください。
- 才能をくすぶらせている人、是非来て下さい。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10月3, 10, 17, 24日にオープンゼミを行う。希望者はかならず来てゼミ生の話聞いておくこと。

## ゼミ紹介白書

< 江頭 ゼミ >

開講日時	早い日もあるよ 木曜日 (4:30 ~ 17:40)
在籍人数(3年生)	11人
男女比(3年生)	7:4
ゼミ室	3号館4階 402B
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

副学長：江頭進 <sup>女</sup>

あんかけを愛し、  
あんかけに惚れた男



マカ「大好き」ゼミ室にはマカが  
いっぱいいる

## < 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	NPO法人総会
5	①
6	あんかけ焼きそば店
7	①
8	
9	
10	① 4大学合同ゼミ(京都)①
11	
12	新歓 ①
1	
2	追いコン
3	

## <ゼミの日常>

輪読、テラート、あんかけ焼きそば  
NPOの活動「ふい」!

先生がバガをゴチとウにくれることも...♥

詳しくはオープンゼミに2!  
お待ちください😊

## <卒業生の進路>

- ・大手通信業界
- ・大手金融業界
- ・食品業界
- ・保険業界

など様々です!

## <自由記入欄>

① 4大ゼミテラート大会

活動内容が多く、忙しい日もありますが、どれも充実したゼミです!  
あんかけ焼きそばは好き以外 大歓迎 \ (^\_^) /  
ゼミゼミ室にお越し下さい。

## 1. 研究主題

公共経済学。経済政策全般。

当ゼミでは、公共部門の経済活動に関する問題をミクロ経済学の組みの中で考え、分析していくことを、最終目標とします。市場経済がもたらす環境問題や所得格差の問題から大きな政府が招く財政赤字の問題といった21世紀の日本や世界が抱える問題も公共経済学の研究対象です。

## 2. 指導要領

初年度（3年次）の前半は、公共経済学もしくは経済政策全般に関わるテーマをいくつか指定し、それらに関してグループごとに研究します。現実の諸問題を、公共財、外部性、所得再分配政策など公共経済学の基本テーマに結びつけて研究することで、公共経済学の理解を深めます。2019年度は、2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）における17の目標のうち、「水と衛生」、「イノベーション」、「持続可能な生産と消費」、「気候変動」を取り上げグループごとに研究し、随時プレゼンテーションを行っています。後半には、別のテーマを設定してディベートを行います。こうして、現実の問題に関わるテーマを深く掘り下げて研究し、4年次での卒業論文につなげていく予定です。公共経済学に対する理解を深めることはもちろんのこと、説得力のあるプレゼンテーションと積極的なディスカッションの能力を身につけることも目標の一つです。ちなみに、過去に提出された卒論のテーマは、環境問題や教育問題から年金・医療問題、さらには北海道の観光振興策からスポーツへの公的な関わりに至るまで様々です。

## 3. 指導テキスト及び参考書

特にテキストは指定しませんが、研究テーマに対応して必要な文献を入手する必要があります。

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接で、当ゼミへの志望理由、どんな経済問題あるいは経済理論に関心を持っているのかについて、聞かせてもらいます。基本的に集団での面接になります。テストは行いません。必ず事前に、志望理由と関心事についてまとめてきて、面接で答えられるようにしてください。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

日時：追って、学務課の掲示板でお知らせします。

場所：3号館3階312号室（ゼミ室）

問い合わせは、sano@res.otaru-uc.ac.jp まで。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

現在（2019年度）の3年ゼミ生は12名、4年ゼミ生は11名です。佐野ゼミは私（佐野）の海外研修による中断を除いて平成12年度から16期続いており、現3年生は17期生となります。これまでの1学年のゼミ生の数は10～13名程度でした。2020年度も大体これくらいの人数を予定しています。現在の社会に対して何らかの問題意識を持ち、積極的な姿勢でゼミに参加するような学生を歓迎します。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

日時：10月3・10・17・24日（木） 14：30～16：50

場所：3号館3階312号室（ゼミ室）

\*ゼミの時間中、出入り自由です。

\*上記日時はいずれも木曜日の3年ゼミですが、予定が合わない人は10月8・15日（火）の4年ゼミの時でも構いません。

ゼミ紹介白書

< 佐野 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 17:00
在籍人数(3年生)	12人
男女比(3年生)	8 : 4
ゼミ室	312
ゼミの鬼仏表	①仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人?

真面目で堅そうに見えて  
意外と柔軟な先生です!  
優しく説明も  
分かりやすいです!

< 2019年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	輪読、プレゼン
5	お花見
6	
7	↓
8	
9	
10	ディベート、論文作成に向けて
11	
12	
1	
2	
3	↓

<ゼミの日常>

いくつかのグループに分かれて  
それぞれが選んだテーマについて  
準備、プレゼンをします。  
先生が割とアドバイスをくれるので  
やりやすいです!

<卒業生の進路>

銀行関係  
公務員  
証券会社 など

<自由記入欄>

公共経済学について学べるゼミです!  
何気なくスルーしている経済問題についても  
学べるので面白いですよ!

## 1. 研究主題

国際経済の現状をふまえて理論と政策について学びます。

## 2. 指導要領

- (1) レポーター方式でのテキストの輪読と議論により、国際経済学と日本や世界の経済の現状について理解を深めます。
- (2) ビブリオバトルやゼミ内ディベートにより、プレゼン能力と短い時間での議論の深め方、チームワーク力を培います。

## 3. 指導テキスト及び参考書

多和田眞・近藤健児(編著)『国際経済学の基礎「100項目」第4版』創成社、2018年

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

事前に申請書を提出して頂き、後日面接を行います。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

- (1) 申請書：申請書は柴山のゼミのホームページ (<http://www.otaru-uc.ac.jp/~chisato/seminar.home.html>) よりダウンロードした申請書に記入したものを柴山あてに ([chisato@res.otaru-uc.ac.jp](mailto:chisato@res.otaru-uc.ac.jp)) 「柴山ゼミ応募」というタイトルをつけて添付ファイルで 11月5日12時まで に送付して下さい。
- (2) 面接：11月6日(水) および7日(木) の14時半から17時40分までの間で柴山ゼミ室(3号館1階117号室) にて行います。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- (1) 3年次は、4回を超えてゼミを休んだ方は退ゼミして頂きます（逆に言えば、3年ゼミの「有給休暇」は4日）。休むときは、私に連絡して下さい。自分がレポーターである場合、他の方に代わって貰い、私に連絡して下さい。
- (2) 長期留学によりゼミを休むことに関しては、課題提出等を条件に半期以内であれば相談に応じます。ただし、半期を超えた場合は、退ゼミして頂きます。
- (3) 遅刻は厳禁です。特別な事情がない限り、遅れても10分以内にして下さい。
- (4) 4年生と合同ゼミです。
- (5) ゼミに積極的に貢献して頂ける方を歓迎します。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

オープンゼミは、10月3日(3号館213教室)、10日(3号館213教室)、17日(5号館172教室)、24日(3号館213教室)の14時半より行っています。17日だけは教室が異なるので注意して下さい。

ゼミ紹介白書

< 柴山ゼミ >

開講日時	16:30とか 早く終わる日と 多謝とある!!
木曜日	14:30 ~ 16:50
在籍人数(3年生)	9人
男女比(3年生)	5:4
ゼミ室	117教室 (活動は172AL)
ゼミの鬼伝表	 体 普通 鬼

＜ 2019年度年間スケジュール ＞

12~3	(前年度)
4	
5	
6	小樽散歩! アズバで飲み会 
7	ディベート大会!! <small>その後 打ち上げ</small>
8	夏休み 
9	(ゼミ合宿)
10	
11	
12	(ディベート大会2回目)
1	
2	追っコン
3	

Q. 先生はどんな人?

某=れいさんだが  
大好き!!

わからないところや難しいところがあれば、どんな基本的なことでも優しく丁寧にわかりやすく教えてくれます!  
美味しい食べ物やお酒のことなどなどいろんな豆知識を教えてください。  
真面目でちょっとおちゃめな先生です!!

<ゼミの日常>  打ち上げ 飲み会、散歩 イベントたくさん

主に国際経済学について研究します! 教科書から基本的な知識を学んでいます! 堅い空気ではないので質問しやすい! わからないところはゼミ生と先生みんなが潰しから進みます笑  
なので他学科の学生にもオススメ!!  
現に沢山います!

<卒業生の進路> 

ホク電、ホクレン、高大教務、鹿島建設、IT、金融関係、TV局、製造業 などなど

 幅広く!!!

<自由記入欄>

何度も言いますが、ほんとに、ほんとうに!!! 丁寧にわかりやすく教えてくれるし、空気堅くなくて質問しやすい!! 先生おちゃめが面白いし、和やかだけどしっかり勉強したい人にとっていい環境だと思います!!

ゼミ 柴山ゼミへ ~!!

## 1. 研究主題

「データを使った現代経済の分析」を研究主題とします。経済の様々な問題に対して、データと、統計学的、経済学的な分析方法を使って、解決策や提言を出せるようになることを目標とします。

## 2. 指導要領

3年ゼミでは、現在起きている経済現象、経済問題について、経済データを利用して勉強を進めつつ、卒業論文のテーマを探して執筆の準備を始めます。さらに、「計量経済学」や「統計学」の方法による、データ分析の方法を修得していきます。4年ゼミでは、3年次で勉強したことを生かして、卒業論文を作成していきます。

## 3. 指導テキスト及び参考書

現時点では未定ですが、経済問題について扱っている本や、計量経済学関連の教科書を使用する予定です。それから、卒業論文のテーマを探すために、皆さん1人1人に、卒業論文のテーマに関連する書籍（入門的な本も含む）、論文等を探して、その内容を報告してもらうことを考えています。

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接をします。1人当たり10分～15分程度の時間を予定しています。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

11月5日（火）14:30～17:00の間に、3号館325号室で面接をします。面接の時間は、11月4日（月）14:20までに、学内の掲示板に掲示します。この日の都合が悪い人は、10月31日（木）17:00までに、[terasaka@res.otaru-uc.ac.jp](mailto:terasaka@res.otaru-uc.ac.jp)宛へ連絡をください。この日の、一部の時間帯の都合がつかない人も、メールで連絡をください。日時を調整します。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

「統計学」や「計量経済学」等と関連のあるゼミですが、これらの内容に抵抗感がなければ、このゼミで卒業論文を執筆できると思います。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10月10日（木）14:30～16:00を予定しています。変更の場合は、掲示板で連絡をします。

ゼミ紹介白書

<寺坂>

ゼミ>

開講日時	木曜日 14:30 ~ 16:50
在籍人数(3年生)	15人
男女比(3年生)	13:2
ゼミ室	325
ゼミの鬼仏表	仏・普通・鬼

Q. 先生はどんな人?

總やかで話し好きの方です!!

< 2019年度年間スケジュール >

<ゼミの日常>

12~3	(前年度)
4	文献探しの前準備
5	↓
6	
7	
8	
9	
10	卒論執筆準備
11	↓
12	
1	
2	
3	

各々が自分の卒論についてしっかりと学習しています。

<卒業生の進路>

明岐にわたる。

<自由記入欄>

是非来て下さい。

## 1. 研究主題

### ミクロ経済学に基づくデータ分析

(専門は「実証産業組織論」です。データをもとに(「実証」)、それぞれの産業で生産者や消費者がどのように行動していて、どのような政策が有効なのかを分析する(「産業組織論」)ような分野です。)

## 2. 指導要領

2020年度から新たに開講されるゼミなので、参加者の希望を聞きつつ進めたいと思っていますが、おおまかには以下を予定しています。

- 3年次：教科書をもとに勉強したうえで、実際にデータ分析をやってみる
- 4年次：各自の卒業論文を書く

なお、2021年度からは3、4年合同ゼミとする予定です。

## 3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ参加者の関心に応じて決めようと思っています。

## 4. 選考の方法(面接・テスト等)

面接

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

申込後にメールで調整します(→以下の6.を見てください)。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

僕のゼミへの応募を決めてくれた人は、面接日時の調整のため、

**10/30(水)までに「[doi.naoshi.1983@gmail.com](mailto:doi.naoshi.1983@gmail.com)」にメールを送ってください。**

(それに対する返信の形で、面接日時の候補をいくつか送ります。)

## 7. オープンゼミの日時・場所(予定)

今年度非開講のため、実施しない。

## 1. 研究主題

私たちの行動（働くことや学ぶことなど）は、期せずして私たちが相互に関わりあい、社会的関係を形成するという役割を担っています。そしてこのような社会的関係の多くは経済的な側面を持っており、その分析には経済学が有用です。経済学によって我々の形成する社会について学び、同時に、ふだん語られない経済学の背景となる知識についても注目しながら、様々なことについて考えてみましょう。

以下のページには、ゼミ生によるゼミ紹介や、より詳細な募集情報、さらにこのページの情報の更新や訂正が掲載されます。是非ご覧ください。

<http://www010.upp.so-net.ne.jp/kenakamu/index.html> (index.html は無くても可。ただし kenakamu の後の/は必要です)

上記ホームページは経済学科の教員紹介の私のページのリンク（「個人」の項目など）から参照することもできます。

## 2. 指導要領

1 年目（3 年生）に基礎的な経済学の能力を身につけて、2 年目（4 年生）でその応用となるような主題を選んで卒論の作成に取り組んでもらう予定です。参加者の関心に応じて、テキストややり方が変わっていくのが当ゼミの特徴です。

## 3. 指導テキスト及び参考書

今までさまざまなテキストを取り上げてきました。今年度はクルーグマンによる経済学の入門用テキスト（「ミクロ経済学」「マクロ経済学」東洋経済新報社）を使用していますが、来年度用のものはまだ決まっていません。毎年、参加者と相談して決めています。

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

面接を行います。経済学などの社会科学への関心や、関心のある読書分野などについて話をしましょう。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

1 1 月 5 日（火）、午後 2 時 3 0 分に仮講義棟 2 9 0 の中村健一ゼミ室に来てください。仮講義棟は講義棟（3 号館）と研究棟（1 号館）の間にあるプレハブ 2 階建ての建物です（以下 url の「講義室・ゼミ室配置図」を見て下さい <http://kenakamu.eco.coocan.jp/map.pdf>）。

都合の悪い人は以下のどちらかに連絡をください、調整します。

[kenakamu@res.otaru-uc.ac.jp](mailto:kenakamu@res.otaru-uc.ac.jp)（電子メール：念のため電話番号を記入しておいてください）

080-4501-8748（留守番電話：連絡先を教えてください。折り返し電話します）

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

履修希望者へのメッセージ：端的に言うと私の講義や基礎ゼミなどに関心を持たれたような人に向いていると思います（私の講義の受講生しか応募できないという意味ではありません）。言い換えると、しっかりした経済学の体系的知識を中心にして、その背景となる歴史や社会思想、科学史と言ったことにも関心を持ちうる人ですね。実際、私のゼミ生の多くは私の講義の受講生出身で、みんな楽しくやっているようです。

○ゼミ募集に関する質問がありましたら、何なりと上記メールアドレスまでお寄せ下さい。またゼミ募集に関する詳しい情報は、1. の項で紹介したホームページにも掲載していますのでぜひご覧ください。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

1 0 月 3 日（木）～2 4 日（木）の期間に火曜・木曜の午後 2 時 3 0 分から仮講義棟 2 9 0 の中村健一ゼミ室でオープンゼミを開催します。御来訪を歓迎します。ゼミ室は 5. にある url の地図で確認してください。

## 1. 研究主題

マクロ経済学、金融ファイナンス論、国際マクロ経済学・国際金融論

(特に、現在と将来というような異時点間の意思決定を重視した動学分析を積極的に取り扱います)

## 2. 指導要領

3年次：テキストの輪読などを通じて、本ゼミの研究主題に関する基礎的な知識を身につけます

4年次：卒業論文の作成に向けて、各自の個人研究の発表を行います

(卒業論文では本ゼミの研究主題と無関係なテーマを選択しても結構です)

## 3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ生の希望分野・レベル等を考慮しながら、相談の上で決定します

## 4. 選考の方法 (面接・テスト等)

選考方法：面接+経済学関連科目の成績・履修状況 (特に応募条件①・②) も考慮

応募条件：①経済学科科目「ミクロ経済学」を履修済みであり、かつ

②経済学科科目「マクロ経済学」を現在履修中であること

※もし応募条件①・②を満たしていない場合は、未履修科目に関して3年ゼミ開始時までに

履修済みである学生と同等レベルの知識を自力で習得しておくことが求められますので

**必ず申込前にメールで相談**して下さい

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

面接日時：11月6日(水)・7日(木)・13日(水)・14日(木)の昼休み (1人当たり10分程度の個別面接)

(上記日時が不都合な場合は、その旨を応募申込メールに記載して下さい)

場所：廣瀬研究室 (1号館431号室)

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

履修希望者は下記要領の応募申込メールを **10月30日(水)までに** 送信して下さい

宛先：hirose@res.otaru-uc.ac.jp

件名 (subject)：seminar2020 (半角英数字でお願いします)

本文に記載する必須事項：

所属学科、学年、学籍番号、氏名、メールアドレス (PC・携帯のどちらでも結構です)、

志望理由、現在履修中の経済学関連科目、面接希望日 (第1希望・第2希望)

(その他、自己紹介・アピール等があれば、自由に書いて頂いても結構です)

※事前に相談があれば、他大学大学院 (経済学研究科) への進学希望者を対象とした

中級～上級レベルのミクロ経済学&マクロ経済学を取り扱うことも可能ですから

その場合は予めメールで相談して下さい

## 7. オープンゼミの日時・場所 (予定)

日時：10月8日 (火) 14:30～

場所：291ゼミ室 (変更する場合は当日、291ゼミ室のドアに掲示いたします)

## 1. 研究主題

「自ら目標を設定し、課題を見つけ、資料を集め、研究する」

これができるようになることを主眼に置き、そのための手段として経済史に関するテーマで学生が卒業論文を書けるようになることを目標としています。卒業論文の題材については、学生の希望を優先してきており、これまでの卒業論文の課題としては、経済史を専門とするゼミとして、地方や中央の銀行・金融史や企業史、産業史など、自分の職業選択に関連するテーマを中心に比較的自由に認められてきています。

## 2. 指導要領

自分でテーマを設定し、プレゼンテーションを行います。その中で単に知識の獲得のみならず、また情報を発信する手段、方法、能力などを身に着けることを期待しています。

現在までのところ、前半は読書会、後半は発表・報告を中心にゼミナールは運営されてきていますが、この点についても学生の希望を優先する予定です。

卒業論文の評価については、卒業論文としての形式が守られているか（不正はないか、引用方法は正しいかなど）に加えて、十分な独自性のある研究内容を含んでいるかどうかを基準としています。なお卒業論文の最低ページ数はA4で60枚です。

## 3. 指導テキスト及び参考書

読書会で輪読する書籍は学生と相談して決めます。

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

主に面接によって行います。面接では簡単な自己紹介ができるように準備してきてください。また原則として試験は予定していません。ただしスラヴ・東欧諸語の既修者（初級以上）については、語学能力を判定する目的で簡単な口頭試験を行い、その結果に応じて優先的に対応します。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

2019年11月5日（火）14:30分からゼミ室206号室で面接します。希望学生と時間が調整できなかった場合などには、7日（木）の同時間を割り当てます。面接時間は通例30分程度を見込んでいます。事前に問い合わせたい場合には、matsuka@onet.euまで連絡してください。

一次募集の可否の判定は、面接の最終予定時間より数日以内にメールで連絡します。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

特に求めているのは読書が好きな人です。また希望者数が予定数を上回ったときに限って、選抜を行います。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

2019年10月8日、15日、22日（それぞれ火曜）の4年ゼミの時間（14:30）からオープンゼミを開催します。場所はゼミ室206号室です。

## 1. 研究主題

Empirical research is research to examine real world phenomena based on observational or experimental data, which is a complement to theoretical research. It intensively uses statistical methods to summarize data to provide quantitative evidence based on hypothesis testing corresponding to research questions.

The objective of this seminar is to learn basics of 1) how to find research questions in the field of social science through reading of existing studies (literature review); 2) to learn how to collect observational and experimental data (survey and experiment design); 3) how to analyze the data (statistical hypothesis testing).

## 2. 指導要領

This course is taught by two instructors (Profs. Matsumoto and Ikeda) in English and covers the following contents:

1. Reading existing empirical studies
2. Designing surveys
3. Designing field experiments
4. Learning methods of statistical hypothesis testing
5. Visiting firms and farms in Hokkaido to observe real world economies

## 3. 指導テキスト及び参考書

Materials are given by the instructors.

## 4. 選考の方法 (面接・テスト等)

Applicants will be interviewed and asked about themselves and the reason to apply for this seminar.

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

The detail on venue and time of the interview will be given on MANABA by the beginning of October.

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

Some of the short-term exchange students from abroad will join this seminar.

## 1. 研究主題

### 家族の経済学

結婚・離婚はいつどのような要因によって行われるのか？子供をもつこと・子供の教育・親の介護に関しどのように行動するとよいのか？日々直面する家計内の問題を経済学の視点から考えてゆきます。

## 2. 指導要領

プレゼンを基本とします。ゼミ生は毎ゼミごとに何らかの役割が課されます。

## 3. 指導テキスト及び参考書

「Household Dynamics」(2002) William A. Lord, Oxford University Press

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

書類選考

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

選考方法：(手順)

ゼミ希望者は11月8日(金)12時(昼)までに

- (a) 自己紹介文（未来の展望をふくめて）
  - (b) ゼミで行いたい事
  - (c) 現在関心を持っていること
- についてそれぞれ、A4 1枚
- (d) 成績表（現在履修科目を(a)に書くこと）

をPDFファイルにして mizushima@res.otaru-uc.jp 宛てに送付してください。

その際に、件名に「学籍番号・氏名（ゼミ希望）」としてください。そうでない場合は受信できない可能性があります。

1次選考の結果は、掲示にて連絡します。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミを欠席した場合は、その都度レポートを提出して戴きます。

3回以上欠席した場合、単位取得は難しいと考えてください。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

今年度非開講のため、実施しない。

## 1. 研究主題

「Deep Learning など Machine Learning の経済活動の実証分析への応用」

Deep Learning を始め Big Data 解析と人工知能の分野で最先端な様々な Machine Learning の手法を習得し、企業や個人の経済活動に関する実証分析を研究主題とする。

近年 Neural Network をベースに Deep Learning の手法が開発され、データ分析や人工知能の分野で他の伝統的な統計学の手法と比べて圧倒的な勢いで発展し、独占的な地位を占めそうとしている。同時に分析対象の特性に合わせて Random Forest や Boosting などの Machine Learning の方法も開発されている。本ゼミでこれらの方法の原理を理解し、技法を身につけ、実際のデータを用いて経済活動やビジネス活動に関する知見を見出すことにより、時代の最先端を覗く。

## 2. 指導要領

ゼミ生の準備知識のレベルを考慮して以下の要領で指導を行う。

3 年次前半においては、Deep Learning などの Machine Learning の手法に関するテキストを輪読し、プログラミング言語 Python による実装方法を習う。

3 年次後半では、ゼミ生各自関心を持つテーマを見つけ、プロジェクトグループを立ち上げ、データを収集し、実証分析を行う。

4 年次においては、後輩の 3 年生の活動に参加しながら、研究成果をまとめ卒論を作成して行く。卒論の作成に当っては個別指導を行う。

## 3. 指導テキスト及び参考書

ゼミ活動の中で必要に応じて指定する。

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

統計学や数理統計学など統計関連科目一つとプログラミングの内容を含む情報処理関連科目を一つ以上が履修済みか履修中であることを条件とする。面接で選考を行う。面接の時に当ゼミを志望する理由、ゼミの中で取り組んでいきたいこと、ゼミに対する期待、プログラミングに関する知識及び自分の趣味、得意なことなどを記入した自己紹介文を事前に作成して必ず提出してください。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

面接希望者は事前に qliu@res.otaru-uc.ac.jp まで連絡した上で、10 月 24 日（木曜日）13 時 00 分か 15 時 00 分の間自己紹介文を持参して研究棟 525 室に来てください。都合の悪い希望者に関しては、時間を調整する。受け入れ予定人数は 8 人以下とする。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

自ら積極的に自己啓発して目標を持ってゼミで能動的に勉強していくことのできる希望者が大歓迎。ゼミの活動の一環として国際交流を積極的に取り組んで行く。

## 7. オープンゼミの日時・場所（予定）

今年度非開講のため、実施しない。